

# 第15回地域伝統芸能全国フェスティバルまつもと

## プログラム

# 日本 まつもと の 2007 in 松本

輝く未来・育む心、まつりが奏でるふるさとの夏

会期：平成 19 年 7 月 28 日（土）～ 29 日（日）

会場：メイン会場／まつもと市民芸術館

サテライト会場／国宝松本城本丸庭園特設ステージ

夏祭ふれあいステージ・街中演奏／花時計公園



●主催：財団法人地域伝統芸能活用センター  
松本市市制施行 100 周年記念事業実行委員会

●共催：松本市、「国宝松本城太鼓まつり」実行委員会

●後援：国土交通省、経済産業省、文化庁、農林水産省、総務省、  
独立行政法人国際観光振興機構、長野県、松本市教育委員会、  
日本放送協会

●特別協賛：日本財団

●特別協力：信濃毎日新聞社

●協力：(社)日本観光協会、(社)全日本郷土芸能協会、SBC信越放送、NBS長野放送  
TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、テレビ松本ケーブルビジョン、FM長野



# メイン会場

まつもと市民芸術館

7月28日(土) 13:00~17:00

12:25	「まつもと市民芸術館」入口にて ■ <b>歓迎デモンストレーション</b> ●本郷地区子ども会若獅子太鼓(長野県松本市)
12:50	
13:00	「まつもと市民芸術館」主ホールにて ■ <b>開催記念式典</b> ●主催者挨拶 ●お言葉 ●御来賓挨拶 ●歓迎挨拶 ●高円宮殿下記念地域伝統芸能賞等表彰式
13:45 13:50	■ <b>地域伝統芸能公演</b> ●御諏訪太鼓(長野県岡谷市) ●阿波おどり(徳島県徳島市) ●綾子舞(新潟県柏崎市) ●金沢百万石まつり/加賀とびはしご登り(石川県金沢市) ●田立の花馬祭り(長野県南木曾町) ●大鹿歌舞伎(長野県大鹿村) ●安来節(鳥根県安来市) ●行成面浮立(佐賀県鹿島市) ●牛深ハイヤ踊り(熊本県天草市) ●内田ササラ踊り(長野県松本市)
16:55 17:00	■ <b>フィナーレ</b> (28日の出演団体)

# サテライト会場

国宝松本城本丸庭園特設ステージ

7月28日(土) 16:30~20:30

16:30	■ <b>第20回 国宝松本城太鼓まつり</b> ●上山太鼓囃子鼓流 鼓流桜組(山形県上市市) ●本郷地区子ども会若獅子太鼓(長野県松本市) ●福崎太鼓保存会(兵庫県福崎町) ●みや誠承太鼓(福島県いわき市) ●四賀鼓龍会虚空蔵太鼓(長野県松本市) ●加賀とびはしご登り(石川県金沢市) ●阿波おどり(徳島県徳島市) ●下今井太鼓連(長野県松本市) ●創作和太鼓集団「雅美—MIYABI—」(香川県高松市) ●御諏訪太鼓(長野県岡谷市) ●国宝松本城太鼓まつりオールスターズ【これで女打!】 浅野町子、的場涼、新垣千里、山本綾乃、大沢しのぶ
20:30	

# 花時計公園会場

街中演奏・夏祭ふれあいステージ

7月28日(土) 13:30~19:00

13:30	■ <b>街中演奏</b> ●県外の太鼓団体によるデモンストレーション演奏
15:30	
17:30	■ <b>夏祭ふれあいステージ</b> ●あいさつ ●阿波おどり(徳島県徳島市) ●牛深ハイヤ踊り(熊本県天草市) ●河回別神グツ仮面劇(韓国安東市) ●台湾先住民族・阿美族豊年祭(台湾花蓮市) ●西馬音内盆踊り(秋田県羽後町) ●岩崎鬼剣舞/刀剣舞(岩手県北上市) ●エイサー(沖縄県沖縄市)
19:00	

7月29日(日) 13:00~17:00

13:00	「まつもと市民芸術館」主ホールにて ■ <b>地域伝統芸能公演</b> ●主催者挨拶 ●岩崎鬼剣舞/刀剣舞(岩手県北上市) ●ぼんぼん・青山様(長野県松本市) ●島立堀米裸祭り(長野県松本市) ●別所温泉岳の轎(長野県上田市) ●三枝草獅子舞(兵庫県姫路市) ●河回別神グツ仮面劇(韓国安東市) ●台湾八家将(台湾台北市) ●台湾先住民族・阿美族豊年祭(台湾花蓮市) ●金蔵獅子(岐阜県高山市) ●松本市内太鼓の競演(長野県松本市) ●西馬音内盆踊り(秋田県羽後町) ●新野の盆踊り(長野県阿南町) ●和合の念仏踊り(長野県阿南町) ●狐師かんこ踊り(三重県松阪市) ●エイサー(沖縄県沖縄市)
16:55 17:00	■ <b>フィナーレ</b> (29日の出演団体)

7月29日(日) 16:30~20:30

16:30	■ <b>第20回 国宝松本城太鼓まつり</b> ●和太鼓狭山 けやき会(埼玉県狭山市) ●加賀太鼓保存会(石川県小松市) ●中山太鼓連(長野県松本市) ●河回別神グツ仮面劇(韓国安東市) ●台湾八家将(台湾台北市) ●台湾先住民族・阿美族豊年祭(台湾花蓮市) ●エイサー(沖縄県沖縄市) ●相模国飯山白龍太鼓保存会(神奈川県厚木市) ●和太鼓道場 ドンドコ(東京都江戸川区) ●国宝松本城古城太鼓(長野県松本市) ●浅間温泉火焰太鼓保存会(長野県松本市) ●国宝松本城太鼓まつりオールスターズ【これで男打!】 ヒダノ修一、今福優、佐藤健作、林田ひろゆき、高田淳
20:30	

7月29日(日) 13:30~15:30

13:30	■ <b>街中演奏</b> ●県外の太鼓団体によるデモンストレーション演奏
15:30	



7月28日(土)・29日(日) 両日11:45~17:30

「まつもと市民芸術館」ホワイエにて 『 <b>観光物産展</b> 』 ●観光物産ブース ●出演団体地元紹介コーナー ●伝統工芸実演コーナー
---

※両日ともに、都合により開催時間、出演者(演目)・出演順の変更が生じる場合もあります。

## イベント会場のご案内



# メイン会場

まつもと市民芸術館

## 7月28日(土)

「まつもと市民芸術館」入口にて

◆ 12:25~12:50 / 歓迎デモンストレーション

◎本郷地区子ども会若獅子太鼓(長野県松本市)

「まつもと市民芸術館」主ホールにて

◆ 13:00~13:45 / 開催記念式典

◎主催者挨拶

◎お言葉

◎御来賓挨拶

◎高円宮殿下記念地域伝統芸能賞等表彰式

◆ 13:50~16:55 / 地域伝統芸能公演

◎御諏訪太鼓(長野県岡谷市)

◎阿波おどり(徳島県徳島市)

◎綾子舞(新潟県柏崎市)

◎金沢百万石まつり/加賀とびはしご登り  
(石川県金沢市)

◎田立の花馬祭り(長野県南木曾町)

◎大鹿歌舞伎(長野県大鹿村)

◎安来節(島根県安来市)

◎行成面浮立(佐賀県鹿島市)

◎牛深ハイヤ踊り(熊本県天草市)

◎内田ササラ踊り(長野県松本市)

◆ 16:55~ / フィナーレ

(28日の出演団体)

## 7月29日(日)

「まつもと市民芸術館」主ホールにて

◆ 13:00~16:55 / 地域伝統芸能公演

◎主催者挨拶

◎岩崎鬼剣舞/刀剣舞(岩手県北上市)

◎ほんぼん・青山様(長野県松本市)

◎島立堀米裸祭り(長野県松本市)

◎別所温泉岳の幟(長野県上田市)

◎金蔵獅子(岐阜県高山市)

◎河回別神グッ仮面劇(韓国安東市)

◎台湾八家将(台湾台北市)

◎台湾先住民族・阿美族豊年祭(台湾花蓮市)

◎三枝草獅子舞(兵庫県姫路市)

◎松本市内太鼓の競演(長野県松本市)

◎西馬音内盆踊り(秋田県羽後町)

◎新野の盆踊り(長野県阿南町)

◎和合の念仏踊り(長野県阿南町)

◎獵師かんこ踊り(三重県松阪市)

◎エイサー(沖縄県沖縄市)

◆ 16:55~ / フィナーレ

(29日の出演団体)

### 司会者プロフィール



たてかわ しらく  
立川 志らく

1963年8月16日生まれ、東京都出身  
1985年10月立川談志に入門  
1988年二つ目昇進、1995年真打昇進

落語家、映画監督、映画評論家、エッセイ  
スト、昭和歌謡曲博士、劇団主宰と幅広く  
活動している。



おさない ともこ  
小山内 智子

元青森朝日放送アナウンサー  
本名：小山内智子 Osanai Tomoko  
出身地：東京都

趣味：イタリア歌曲(歌う事)、  
サーフィン、写真

特技：スキー(アルペン、クロスカント  
リー競技)

資格：普通自動車免許

## 式次第

- 開 会
- 主催者挨拶 財団法人地域伝統芸能活用センター  
会長 瀬島 龍三
- 主催者挨拶 松本市市制施行100周年記念事業実行委員会  
会長 松本市長 菅谷 昭
- お 言 葉 高円宮妃殿下
- ご来賓挨拶 国土交通省
- ご来賓挨拶 経済産業省
- ご来賓挨拶 長野県
- 高円宮殿下記念地域伝統芸能賞  
地域伝統芸能大賞・奨励賞表彰式  
財団法人地域伝統芸能活用センター副会長
- 閉 会

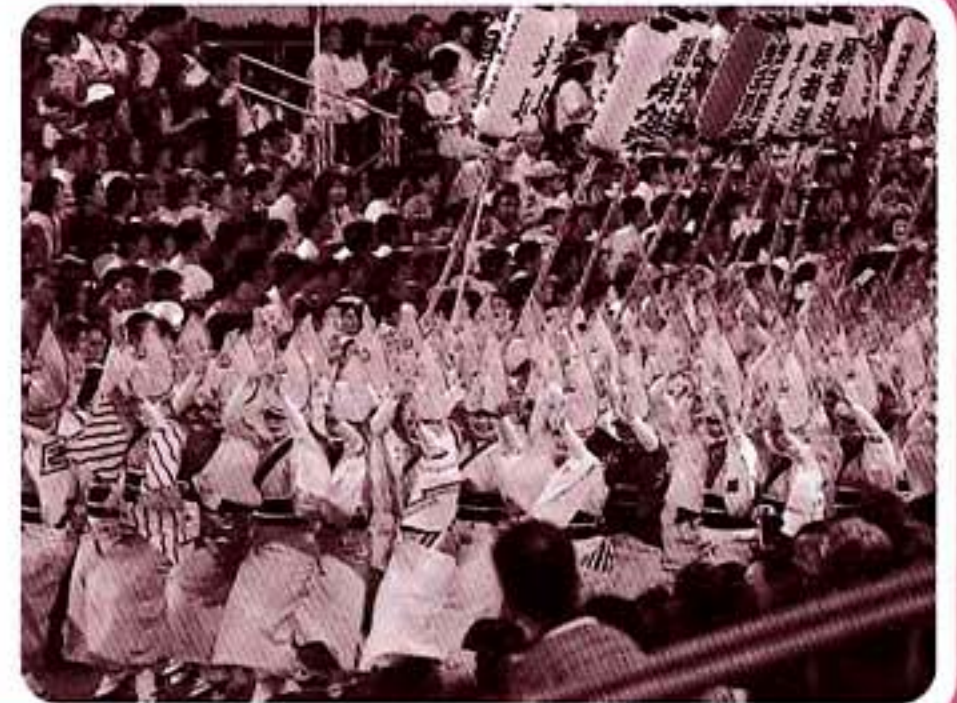
## 平成19年度 高円宮殿下記念地域伝統芸能賞受賞者

「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」は、地域伝統芸能の保存と継承によせられた高円宮殿下のご遺徳を後の世に永く伝えるため、地域伝統芸能の保存、継承、活用のすべてにわたって抜きん出た功績が認められる個人又は団体を表彰する制度として、平成15年に設けたものです。

あ わ しんこうきょうかい とくしまけん あ わ おど きょうかい  
阿波おどり振興協会・徳島県阿波踊り協会

◆◆ 徳島県徳島市 ◆◆

約400年の歴史があり、徳島県内各地の市町村で開催される盆踊り。なかでも徳島市の阿波踊りが県内最大規模で最も有名であり、四国三大祭り、日本三大盆踊り、世界三大ダンスの一つに数えられている。この徳島市の阿波踊りは、毎年8月12日から15日までの四日間開催され観光客は100万人以上、踊り手だけでも10万人以上に達し、三味線、太鼓、鉦、横笛などの二拍子の伴奏にのって、女性は優雅に、男性は腰を落として豪快に踊る。精霊踊りや念仏踊りが原型といわれているが起源は明らかではない。一説には徳島城が竣工したさい、当時の阿波守蜂須賀家政が城下に「城の完成祝いとして、好きに踊れ」という触れを出したのが始まりという説もある。



## 平成19年度 地域伝統芸能大賞受賞者

「地域伝統芸能大賞」は、多年にわたり地域伝統芸能の活用を通じ観光又は地域の商工業の振興に顕著な貢献をしたと認められる個人又は団体を表彰することにより、国民の地域伝統芸能の活用に対する認識を高めるとともに、個性豊かな地域社会の実現に寄与することを目的に、平成5年に設けたものです。

## 保存継承賞

かわざきしあやこまいほぞんしんこうかい  
柏崎市綾子舞保存振興会

◆◆ 新潟県柏崎市 ◆◆

綾子舞は、女性が踊る小歌踊、男性が演じる囃子舞、狂言の三種類の芸能を総称したもので、初期歌舞伎踊りの面影を色濃く残している。確かな由来は解らないが、言い伝えでは1509年、越後守護上杉房能の奥方綾子が伝えたとする説や、京都北野神社の巫女文子の舞を伝えたとする説などがあるが、1600年前後、京都を中心に活躍していた出雲の阿国たちの初期歌舞伎踊りの舞台と同じであることから、この時代に伝承されたと考えられている。



## 平成19年度 地域伝統芸能大賞受賞者

### 活用賞

かなざわひゃくまんごく じっこういんかい  
**金沢百万石まつり実行委員会**

◆◆ 石川県金沢市 ◆◆

加賀百万石行列が行われる金沢百万石まつりは、加賀藩祖前田利家公が天正11年（1583年）6月14日、金沢に入城し、金沢の礎を築いた偉業を偲んで開催されている。昭和27年に金沢市と金沢商工会議所が中心となって開催した商工まつりが第1回目となり、その後豪華絢爛な百万石行列をはじめ、400年に渡って受け継がれてきた金沢ならではの伝統ある行事が賑やかに繰り広げられてきた。第33回目を迎えた昭和59年、初めて百万石行列の主演である利家役に俳優を起用して以降、全国に発信できる初夏の一大イベントに成長し、現在では30万人以上の動員を誇っている。

「加賀とびはしご登り」は、江戸時代、江戸幕府が江戸の大名火消しの組織を作るように命じたのを受けて、加賀藩の5代藩主綱紀が、江戸本郷上屋敷にあった防火隊の規模を大きくして作った消防組織「加賀とび」に始まり、「加賀とび」は目立つ服装といせいの良さ、見事な火消し活動で、江戸の名物となった。「加賀とびはしご登り」は、火事の高いつり住み、「加賀とび」の技が今日に伝えられることとなった。金沢市では、「加賀とびはしご登り」の歴史や技を学ぶ場として、小学校3年生から6年生を対象に、金沢子どもはしご登り教室も開かれている。

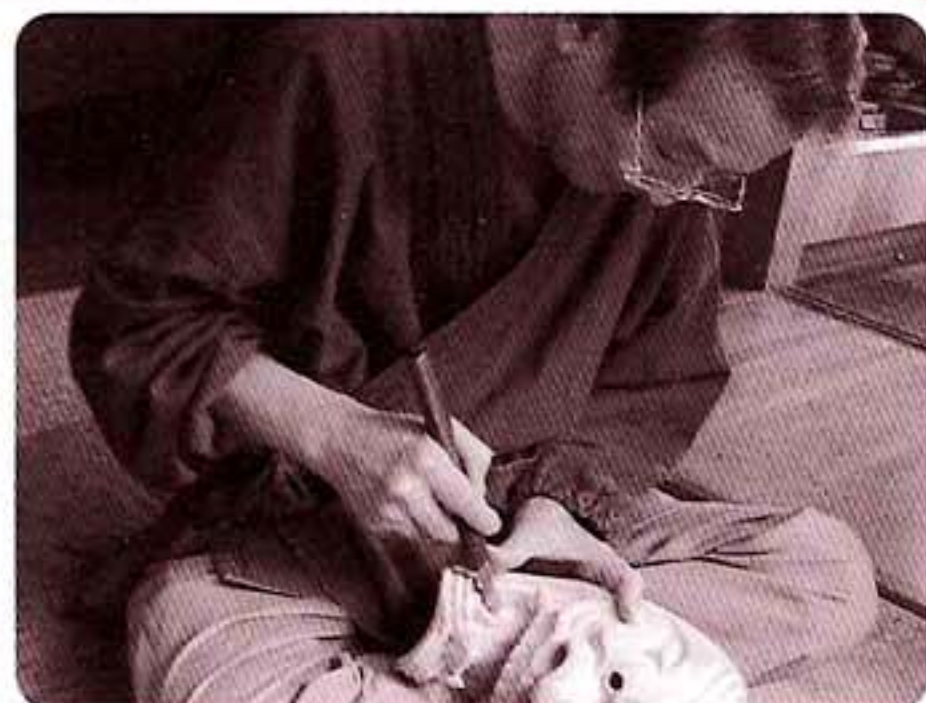


### 支援賞

かじ わら いち りゅう  
**梶原一龍**

◆◆ 佐賀県鹿島市 ◆◆

鬼面に太鼓、シャグマを揺らして勇壮に舞い踊る面浮立は佐賀県を代表する地域伝統芸能である。面浮立の起こりについては戦の中で奇襲に鬼面を被ったのが始まりとの言い伝えがあるが、現在は五穀豊穡への感謝をこめて各地の神社に奉納されている。「面浮立」の面は鬼だが、この鬼は決して人に害を及ぼすことはなく、むしろ人の生活を守り、悪霊を退治する鬼として昔より民衆に親しまれ、大切に扱われてきた。今回出演する「行成面浮立」は、平成19年度地域伝統芸能大賞支援賞を受賞した梶原一龍氏製作の「浮立面」を使っの演技披露となる。



### 地域振興賞

うしぶか じっこういんかい  
**牛深ハイヤ祭り実行委員会**

◆◆ 熊本県天草市 ◆◆

牛深ハイヤ節は江戸時代後期に生まれたといわれ、当時の船乗りたちによって全国に伝えられた。九州ではハイヤ節、東北・北海道ではアイヤ節、宮城県や茨城県では甚句と呼ばれる唄の源流である。ハイヤとは、九州地方で南風のことを「ハエ」と呼ぶことから、ハエがハエヤ、ハエヤがハイヤとなったもの。南風で出航した船が、どこの港まで進んだのだろうと船乗りたちの身を案じる牛深の人々が歌い始めたといわれている。



## 平成19年度 地域伝統芸能奨励賞受賞者

「地域伝統芸能奨励賞」は、その地域に伝わる伝統芸能を受け継ぐために、日頃、研鑽と地道な努力を重ねている将来有望な新人や団体を発掘し、激励するための表彰制度として、平成14年に設けたものです。

いちうがわ こう じ  
**一字川耕士**

◆◆ 島根県安来市 ◆◆

平成19年度地域伝統芸能奨励賞受賞者の一字川耕士氏は、若い世代の安来節離れが進む中、高校卒業後、安来節保存会に入会。家業の安来節屋（体験道場・菓子製造業）を手伝いながら、全国的に難しいといわれる安来節（唄・絃・鼓・踊）をマスターし、地元はもとより全国各地で行われるイベント等に父親とともに出演し、普及・宣伝に努めている。安来節は島根県の代表的な民謡で、「どじょうすくい唄」としても全国的に広く親しまれている。安来市は古くから鉄や米の積出港として栄え、元禄の頃に北前舟の船頭達によって、全国の追分、おけさなど民謡や田植え唄、船歌などが盛んに交流し、その中で「安来節」が誕生したと言われている。



7/28  
(土)

# 歓迎デモンストレーション

12:25~12:50

ほんごうちくこかい  
**本郷地区子ども会**  
 わかじしだいこ  
**若獅子太鼓**

長野県松本市  
 本郷地区子ども会若獅子太鼓

昭和63年11月、浅間温泉火焰太鼓ジュニアチームとして結成。子どもたちが、太鼓の活動を通じて、勇気と団結力を養い、地域社会に奉仕することを目的に活動している。小学2年生から6年生によって構成され、福祉施設や地域の各種行事で活躍している。これまで「国宝松本城太鼓まつり」はもちろん、「SOスペシャルオリンピック閉会式」、「日本太鼓ジュニアコンクール」などに出演。福祉施設の慰問演奏や郷土芸能振興伝承にも協力している。

7/28  
(土)

# 地域伝統芸能公演

13:50~17:00

おすわだいこ  
**御諏訪太鼓**

長野県岡谷市  
 御諏訪太鼓

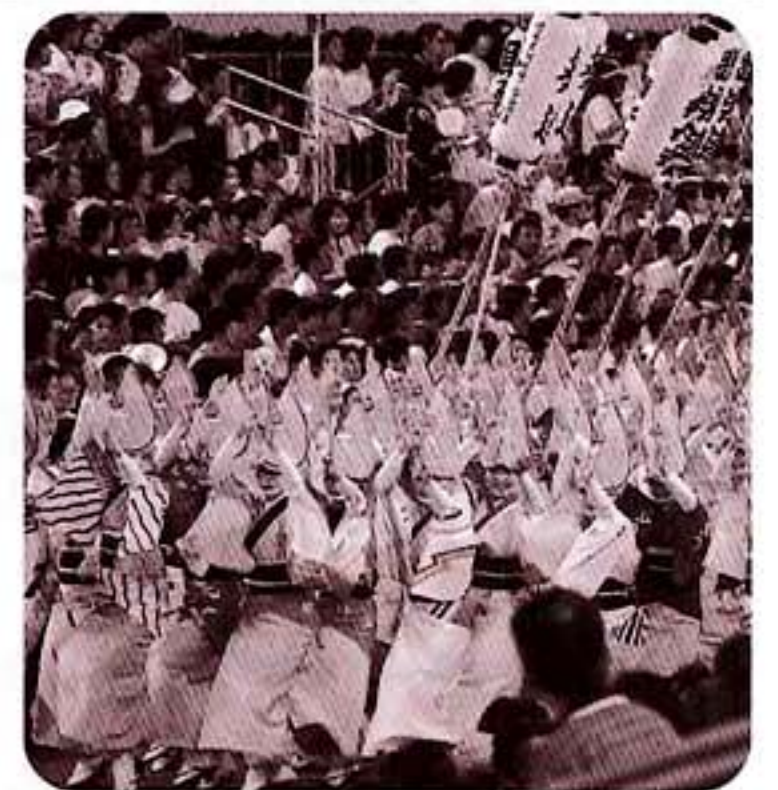
御諏訪太鼓は太古より農耕武勇の神として全国的な崇敬を集めている信濃の国一之宮諏訪大社の太々神楽を伝承し、今から約450年前、永禄4年9月、川中島合戦において、武田信玄がこの太鼓で将兵の志気を鼓舞し有利な戦を展開したと伝えられる郷土芸能。東京オリンピックや長野オリンピックをはじめ、多数のイベントに出演、海外公演も既に90ヶ国を数えている。全国各地、540の太鼓団体を指導育成、またアメリカ、カナダ、シンガポール、フランス等にも支部を持ち、内外にわたって日本の太鼓の普及と振興拡大を担っている。



あわ  
**阿波おどり**

徳島県徳島市  
 阿波おどり振興協会所属連  
 徳島県阿波踊り協会所属連  
 ※平成19年度高円宮殿下記念地域伝統芸能賞受賞

※詳細は、3ページをご覧ください。



あやこまい  
**綾子舞**

新潟県柏崎市  
 柏崎市綾子舞保存振興会  
 ※国指定重要無形民俗文化財  
 ※平成19年度地域伝統芸能大賞保存継承賞受賞

※詳細は、3ページをご覧ください。



かなざわひやくまんごく  
**金沢百万石まつり**  
 かが のぼ  
**加賀とびはしご登り**

石川県金沢市  
 加賀とびはしご登り保存会  
 ※平成19年度地域伝統芸能大賞活用賞受賞  
 (金沢百万石まつり実行委員会)

※詳細は、4ページをご覧ください。



ただち はなうまつ  
**田立の花馬祭り**

長野県南木曾町  
 田立花馬祭り保存会  
 ※長野県指定無形民俗文化財

花馬祭りは、約400年前から田立地区の五宮（いつみや）神社に伝わる五穀豊穡を願う祭り。細長く割った竹に五色の色紙をつけた「花」に3頭の木曾馬が飾られ、氏子や小中学生の笛、太鼓と一緒にJR中央本線・田立駅前から同神社までの地区内を練り歩く。「花」は稲穂に見立てたもので、虫除けとして田の畦に、また厄除けとして家の入口に挿すといわれる。神社に到着後、行列が境内を3周し終わると、行列の人たちや観衆が馬に殺到して「花」を奪い合う。1998年の長野冬季オリンピックでは、田立の花馬が祭典のフィナーレを飾る閉会式の芸術プログラムに出場した。祭りの日、五宮神社では、田立歌舞伎保存会の青年たちによる田立歌舞伎も上演されている。



おおしかかぶき  
**大鹿歌舞伎**

長野県大鹿村  
 財団法人大鹿歌舞伎保存会  
 ※国選択無形民俗文化財  
 ※平成10年度地域伝統芸能大賞第4類受賞  
 (片桐登氏：大鹿歌舞伎の伝承・振興)

大鹿歌舞伎は、江戸時代中頃から各集落にある神社の舞台で演じられ、今日まで伝承されてきた「地芝居」（農村歌舞伎）に属するもので、毎年5月3日には村内下市場の大磧神社で、また10月の第3日曜日には塩河の市場神社で定期公演が催されており、例年千人近いファンが訪れ観劇を楽しんでいる。江戸時代には幕府からの上演禁止令が、また明治時代に入ってから上演を禁止する県の通達が出され、各地に広まった「地芝居」は次第に衰退していく。飯田・下伊那地方も例外ではなかったのが、大鹿が山間地にあったことから、幸いにも貴重な文化が残る結果となった。現在、「大鹿歌舞伎」は、昭和61年に発足した「財団法人大鹿歌舞伎保存会」により運営されており、年2回の定期公演のほか、今回の「松本公演」のように、各地からの招きに応じて公演を行っている。また、大鹿中学校では「歌舞伎班」の生徒たちが保存会会員の指導を受けており、地域文化の若き担い手として今後の活躍が期待されている。



やすぎぶし  
**安来節**

島根県安来市  
 安来節保存会  
 ※平成19年度地域伝統芸能大賞奨励賞受賞  
 (一字川耕士氏)

※詳細は、4ページをご覧ください。



ゆきなりめんぶりゅう  
**行成面浮立**

佐賀県鹿島市  
 行成浮立保存会  
 ※平成19年度地域伝統芸能大賞支援賞  
 受賞→「行成面浮立」使用の面を製作する梶原一龍氏

※詳細は、4ページをご覧ください。

